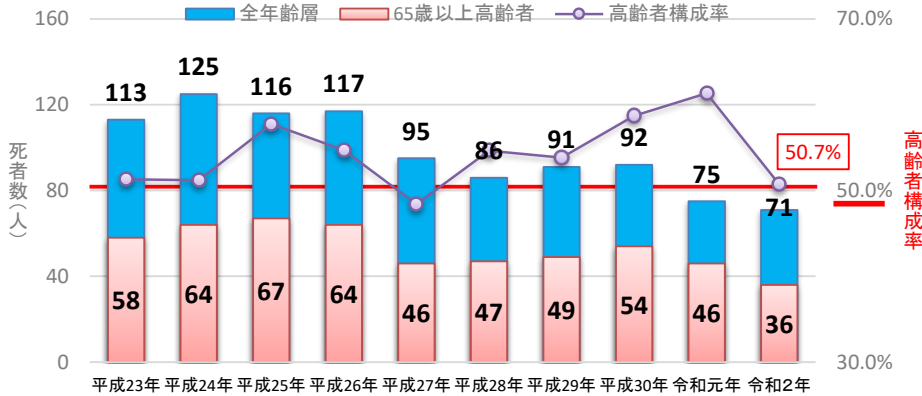




令和2年中の交通死亡事故発生状況 ～死者数71人、うち高齢者36人～

交通事故死者数の推移【広島県内】

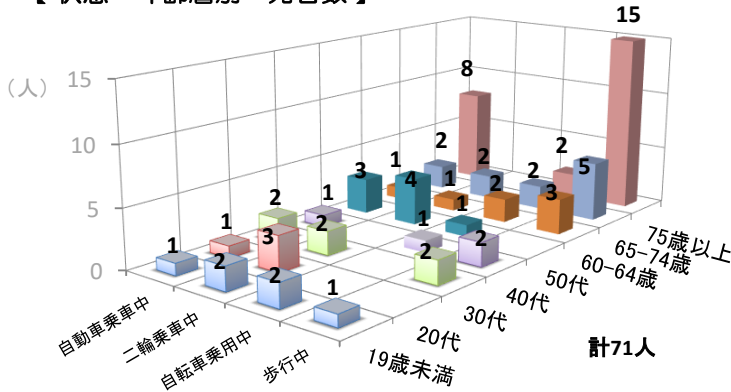


令和2年中の交通事故死者数は71人で、統計が残る昭和23年以降最少となりました。

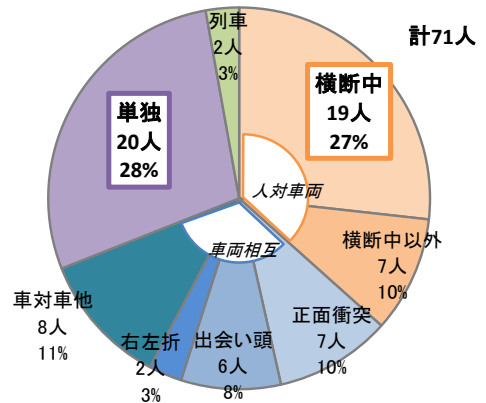
65歳以上の高齢者死者数も大きく減少しましたが、全死者数の半数を占めています。

交通死亡事故の主な特徴 (令和2年中)

【状態・年齢層別 死者数】



【事故類型別 死者数】



- 歩行中の死者が28人と最も多く、うち75歳以上高齢者が15人で歩行中死者数の半数を占める。
- 事故類型別では、人対車両が26人と多く、特に横断中事故による死者が多い。

交通事故を起こさない、被害に遭わないために



年間の交通事故死者数を75人以下とする目標を2年連続で達成しましたが、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることに変わりありません。

交通事故を防ぐために、自動車や自転車の運転者、歩行者がそれぞれ相手の立場に配慮し、思いやりの気持ちをもって行動しましょう。